

新庁舎整備に関するアンケート調査 実施結果（概要）

1 募集期間、実施方法

- ・募集期間：2023年7月1日（土）～15日（土）
- ・実施方法：兵庫県電子申請システムを活用したWebアンケート
※インターネットの利用が難しい方には、郵送等で個別に対応

2 質問内容

- ・市役所（本庁舎）の利用頻度、利用目的（用件）、交通手段
- ・新庁舎の市民利用エリアに求める設備や機能
- ・「明石らしさ」から連想されるもの など

3 回答数

- ・278名
※内訳）市民：269名、市外在住者：9名
20代以下：26名、30～40代：127名、50～60代：99名、70代以上：26名

4 回答結果

- ・「市役所の利用頻度(Q3)」については、「数年に1回程度」が最も多く（35.6%）、「利用したことがない」、「年に1回程度」、「年に3,4回程度」を合わせると、全体の約9割を占めた。
- ・「一度の利用(来庁)で回る部署数(Q5)」については、「1か所」が最も多く（57.3%）、2か所以下が、全体の約9割を占めた。
- ・「市役所までの交通手段(Q7)」については、「自家用車」が最も多く（52.8%）、次いで「徒歩」（27.5%）だった。
- ・「市民利用エリアに求める設備・機能(Q8)」については、「飲食関連(食堂、カフェなど)」が最も多く（119名）、次いで、「育児・子育て関連(キッズスペース、託児スペースなど）」（72名）、「展望テラス」（49名）だった。
- ・「明石らしさから連想されるもの(Q10)」については、「瀬戸内海に面した海岸線や明石海峡大橋」が最も多く（171名）、次いで「東経135度子午線や天文科学館(時のまち）」（166名）、「タコやタイなどの海産物」（87名）だった。
- ・「新庁舎の窓口を求める取組(Q11)」については、「書かなくてよい窓口」が最も多く（165名）、次いで「おくやみコーナー」（117名）、「番号案内モニターやお知らせメール」（113名）だった。

※結果の詳細については、[資料2-2](#)「アンケート調査報告書」参照